

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第70期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社ミューチュアル
【英訳名】	Mutual Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 榎本 洋
【本店の所在の場所】	大阪市北区西天満一丁目2番5号
【電話番号】	06(6315)8613
【事務連絡者氏名】	経理部長 吉野 尊文
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区西天満一丁目2番5号
【電話番号】	06(6315)8613
【事務連絡者氏名】	経理部長 吉野 尊文
【縦覧に供する場所】	株式会社ミューチュアル東京支店 （東京都千代田区神田須田町二丁目11番） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第3四半期連結 累計期間	第70期 第3四半期連結 累計期間	第69期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	6,265,320	5,372,005	9,695,843
経常利益(千円)	57,100	14,318	341,401
四半期(当期)純利益又は四半期純損失 ()(千円)	17,074	13,932	146,996
四半期包括利益又は包括利益(千円)	108,800	62,702	399,863
純資産額(千円)	7,115,251	7,350,765	7,406,269
総資産額(千円)	10,871,287	11,229,109	11,295,448
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()(円)	2.35	1.91	20.20
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	63.3	63.5	63.5

回次	第69期 第3四半期連結 会計期間	第70期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当 り四半期純損失金額()(円)	6.52	20.79

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

株式会社鈴木製作所の事業譲渡等に関する契約

当社は、平成25年10月4日開催の取締役会において、株式会社鈴木製作所の事業の譲受について決議し、東京地方裁判所の許可を得て事業譲渡等契約の調印を行いました。本契約に基づき、同日に事業の譲受を実行しております。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による各種の経済政策により、個人消費、企業収益が改善するとともに、消費税後の影響を軽減する等景気回復に重点を置いた、積極的な取組みにより順調な回復が見られる一方、輸入物価の上昇や新興国経済の成長鈍化、欧米の景気回復基調の弱さ等の不安材料も残る状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは国内外の展示会に積極的に参加し、新型の輸入機・国産機の拡販に注力するとともに、平成25年10月に株式会社鈴木製作所の事業を譲受け、関東工場を開設し各種充填設備の製造、メンテナンスを事業の柱として迅速にお客様のニーズに対応出来る様、体制強化を図って参りました。売上高につきましては、大口案件が第4四半期以降にずれ込んだことにより前年同期比893百万円減少いたしました。損益面におきましては、売上高総利益率が原価低減努力により前年同期比1.4ポイント改善いたしました。売上総利益が減収に伴い191百万円減少したことに加え、人件費やサービス費等、販売費及び一般管理費が増加したことで営業損失となりました。しかし一部債権において回収不能の懸念があり、貸倒引当金を前連結会計年度末に加え278百万円引当てしておりますが、保有株式を一部売却し投資有価証券売却益を356百万円計上した結果、経常損益、四半期純損益につきましては利益計上となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,372百万円（前年同期比14.3%減）、売上総利益は1,078百万円（同7.8%減）、営業損失は101百万円（前年同期は110百万円の利益）、経常利益は14百万円（前年同期比74.9%減）、四半期純利益は13百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では4,909百万円（前年同期比15.6%減）でありました。このうち、検査装置が865百万円（同64.3%増）、製剤機が333百万円（同38.6%増）、改造・調整・修理が1,111百万円（同19.8%増）、部品が521百万円（同8.6%増）、包装機が1,075百万円（同2.1%増）と好調に推移いたしました。一方では一連ラインが290百万円（同61.4%減）、充填機が710百万円（同61.3%減）と大幅に減少しました。

工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高402百万円（前年同期比11.9%増）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド117百万円（同22.4%増）、原石114百万円（同3.9%減）、パウダー49百万円（同28.6%増）等となっております。

その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高60百万円（前年同期比30.8%減）であります。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比66百万円減少し、11,229百万円となりました。これは主として仕掛品が430百万円、前渡金が393百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が1,071百万円減少し、貸倒引当金が277百万円増えたことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比10百万円減少し、3,878百万円となりました。これは主として、前受金が452百万円増加する一方で、支払手形及び買掛金が252百万円、未払法人税等が172百万円減少したことによるものです。純資産は、主として繰延ヘッジ損益が43百万円増加する一方で、配当金の支払い109百万円により、7,350百万円となり前連結会計年度末比55百万円の減少となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更又は新たに発生した問題等はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動費用の金額は4,191千円であります。

また、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名又は登録 認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,620,320	7,620,320	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	単元株式数100株
計	7,620,320	7,620,320	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	7,620,320	-	669,700	-	695,975

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況につきましては、実質株主の把握ができず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年9月30日現在の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

(平成25年12月31日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 342,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,261,800	72,618	-
単元未満株式	普通株式 16,120	-	-
発行済株式総数	7,620,320	-	-
総株主の議決権	-	72,618	-

【自己株式等】

(平成25年12月31日現在)

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ミューチュアル	大阪市北区西天満 1丁目2-5	342,400	-	342,400	4.49
計	-	342,400	-	342,400	4.49

(注) 当第3四半期会計期間末の自己株式数は、346,433株となっております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,455	2,444,863
受取手形及び売掛金	3,489,721	2,418,639
有価証券	202,321	54,088
商品及び製品	66,471	84,217
仕掛品	1,132,163	1,562,545
原材料	57,133	63,293
前渡金	559,715	953,467
繰延税金資産	89,513	63,731
その他	230,712	437,128
貸倒引当金	2,135	1,914
流動資産合計	8,094,074	8,080,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	285,681	478,280
土地	476,274	632,932
その他(純額)	47,445	82,149
有形固定資産合計	809,401	1,193,362
無形固定資産		
のれん	22,821	15,974
その他	21,515	21,077
無形固定資産合計	44,336	37,052
投資その他の資産		
投資有価証券	1,398,399	1,265,779
長期預金	201,500	200,000
その他	1,101,279	1,084,397
貸倒引当金	353,544	631,545
投資その他の資産合計	2,347,634	1,918,632
固定資産合計	3,201,373	3,149,047
資産合計	11,295,448	11,229,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,450,139	2,197,503
短期借入金	100,000	145,000
1年内返済予定の長期借入金	19,920	19,920
未払法人税等	176,837	4,165
前受金	466,325	919,127
賞与引当金	74,131	51,602
その他	256,534	173,665
流動負債合計	3,543,887	3,510,984
固定負債		
長期借入金	31,940	17,000
退職給付引当金	190,199	207,288
役員退職慰労引当金	64,782	68,430
その他	58,367	74,639
固定負債合計	345,290	367,359
負債合計	3,889,178	3,878,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	5,717,061	5,458,171
自己株式	350,457	188,490
株主資本合計	6,732,279	6,635,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,531	419,663
繰延ヘッジ損益	30,298	73,931
為替換算調整勘定	2,151	35
その他の包括利益累計額合計	438,678	493,630
少数株主持分	235,311	221,779
純資産合計	7,406,269	7,350,765
負債純資産合計	11,295,448	11,229,109

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	6,265,320	5,372,005
売上原価	5,095,232	4,293,089
売上総利益	1,170,088	1,078,915
販売費及び一般管理費	1,059,757	1,180,467
営業利益又は営業損失()	110,330	101,551
営業外収益		
受取利息	19,472	10,438
受取配当金	23,140	24,006
投資有価証券売却益	-	356,601
その他	11,669	10,709
営業外収益合計	54,282	401,755
営業外費用		
支払利息	1,227	1,091
投資有価証券評価損	4,689	5,390
貸倒引当金繰入額	100,000	278,000
その他	1,596	1,403
営業外費用合計	107,513	285,884
経常利益	57,100	14,318
特別利益		
固定資産売却益	37	28
特別利益合計	37	28
特別損失		
その他	4	-
特別損失合計	4	-
税金等調整前四半期純利益	57,132	14,347
法人税、住民税及び事業税	48,380	5,433
法人税等調整額	3,138	2,063
法人税等合計	45,241	7,496
少数株主損益調整前四半期純利益	11,891	6,851
少数株主利益又は少数株主損失()	28,965	7,081
四半期純利益又は四半期純損失()	17,074	13,932

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,891	6,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,558	10,031
繰延ヘッジ損益	11,855	43,632
為替換算調整勘定	11,495	2,187
その他の包括利益合計	96,909	55,851
四半期包括利益	108,800	62,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,844	68,884
少数株主に係る四半期包括利益	29,956	6,182

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当第3四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	70,550千円	92,232千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	31,246千円	34,995千円
のれんの償却額	6,846	6,846

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	123,727	17.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	109,168	15.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高(千円)	5,818,881	359,471	6,178,352	86,967	6,265,320	-	6,265,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高(千円)	-	-	-	-	-	-	-
計	5,818,881	359,471	6,178,352	86,967	6,265,320	-	6,265,320
セグメント利益	386,788	43,903	430,692	23,819	454,511	344,180	110,330

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 344,180千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高(千円)	4,909,414	402,380	5,311,794	60,210	5,372,005	-	5,372,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高(千円)	-	-	-	-	-	-	-
計	4,909,414	402,380	5,311,794	60,210	5,372,005	-	5,372,005
セグメント利益	232,166	39,806	271,972	11,466	283,439	384,991	101,551

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 384,991千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	2円35銭	1円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	17,074	13,932
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	17,074	13,932
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,278	7,277

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

株式会社ミューチュアル

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

山田 美樹

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

松嶋 康介

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミューチュアルの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミューチュアル及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。